

自民新総裁に石破氏

決選投票で高市氏破る

来月1日、首相指名へ

自民党総裁選は27日、党本部で投票され、石破茂元幹事長(67)が第28代総裁に選出された。1回目の投票で過半数に達した候補者はなく、上位2人による決選投票の結果、石破氏が高市早苗経済安全保障担当相(63)を破った。10月1日召集の臨時国会で、岸田文雄首相の後継となる第102代首相に指名される。早期の衆院解散・総選挙が取り沙汰されており、石破氏の判断に注目が集まる。

任期は2027年9月までの3年間。石破氏は党役員人事に着手し、新執行部を発足させる。

総裁選は岸田氏の総裁任期満了に伴うもので、派閥解消の流れを受け過去最多

9人の争いとなった。石破、高市両氏のほか、小林鷹之

前経済安保相(49)、林芳正

官房長官(63)、小泉進次郎

元環境相(43)、上川陽子外

相(71)、加藤勝信元官房長

官(68)、河野太郎デジタル

相(61)、茂

木敏充幹事

長(68)が立

候補した。



自民党の新総裁に選出された石破茂氏=27日午後3時23分、東京・永田町の党本部

神戸新聞

NEXT



詳しくはこちら